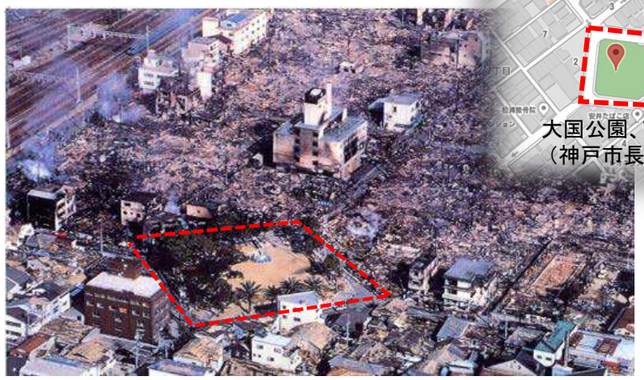
延焼防止に関するこんな記事

阪神淡路大震災/延焼防止に貢献した大国公園(だいこくこうえん)

公園の外郭沿いには、クスノキを主とする樹木が 30 本近く植栽されていました。平成 7 年の阪神淡路大震災発生時に、水分を含んだ樹木が「水の壁」になった上、オープンスペースが延焼を食い止めました。

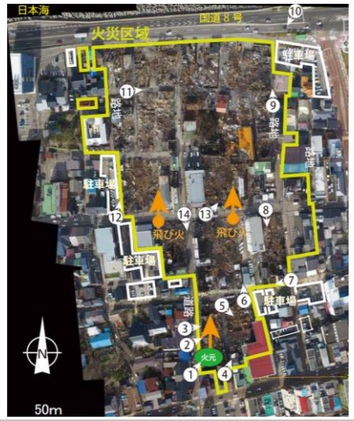
（資料：国土交通省　都市公園のストック効果事例集）



糸魚川大規模火災と（青空）駐車場

右の記事には、平成 28 年 12 月 22 日の糸魚川大規模火災における、延焼範囲と駐車場の関係が示されています。

（資料：新潟県糸魚川市駅北大火について/糸魚川ジオパーク協議会）



延焼拡大を食い止めた駐車スペース
（平成 28 年 12 月 25 日撮影）

「ブロック塀等撤去助成事業」のご案内

荒川区では、大規模な地震時にブロック塀等が倒壊し、周囲の人に危害を及ぼすことがないよう、道路に面する危険なブロック塀等を撤去するための費用の一部を助成しています。

助成の対象	道路等に面する危険なブロック塀等 ブロック塀等の高さ（道路または地表面から上端部までの垂直距離）が 1.2 メートルを超えているもの ※ その他ブロック塀等の状況によっては、助成の対象にならない場合もありますので、必ず事前にご相談ください。
助成の内容	ブロック塀等を撤去する工事に要した費用の 3 分の 2 の額を助成します。 ただし、1 メートル当り 6,000 円を上限とします。

平成 28 年熊本地震における
ブロック塀等の被害の実例

これからブロック塀等の撤去を考えておられる方は、ぜひご利用ください。

お問い合わせ先

荒川区 防災都市づくり部 防災街づくり推進課 防災街づくり係（区役所北庁舎 2 階⑭窓口）

電話：03-3802-3111（内線 2828）／FAX：03-3802-4104

あら、かわいい まちづくり新聞

発行：荒川五・六丁目防災まちづくりの会
編集：荒川区防災都市づくり部防災街づくり推進課
（協力：ランドブレイン株式会社）
通巻第 68 号　平成 30 年 7 月

昨年度の成果と今年度の取り組み

荒川五・六丁目防災まちづくりの会では、昨年度「荒川五・六丁目地区防災まちづくりマップ」を作成し、地域の皆様に配布しました。

今年度は、６月２７日（水）に開催した防災まちづくりの会において、公園・広場に着目し、災害時における「公園・広場」の役割を理解する取り組みを行うこととしました。

そこで、今年４月にオープンした花の木防災スポットを例にとりあげて、防災スポットの設置の目的について学んだり、設置されている設備を実際に触れて体験したりすることで、いざというときにその機能を十分に発揮できることを目指します。

「荒川五・六丁目地区防災まちづくりマップ」

昨年度：防災まちづくりマップ作成

平成 30 年 6 月 27 日（水）
第 1 回協議会
①昨年度のふりかえり
②今年度の取り組みについて
③まちづくりニュースの発行（案）について

7 月中旬～下旬
まちづくり新聞第 68 号発行、配布

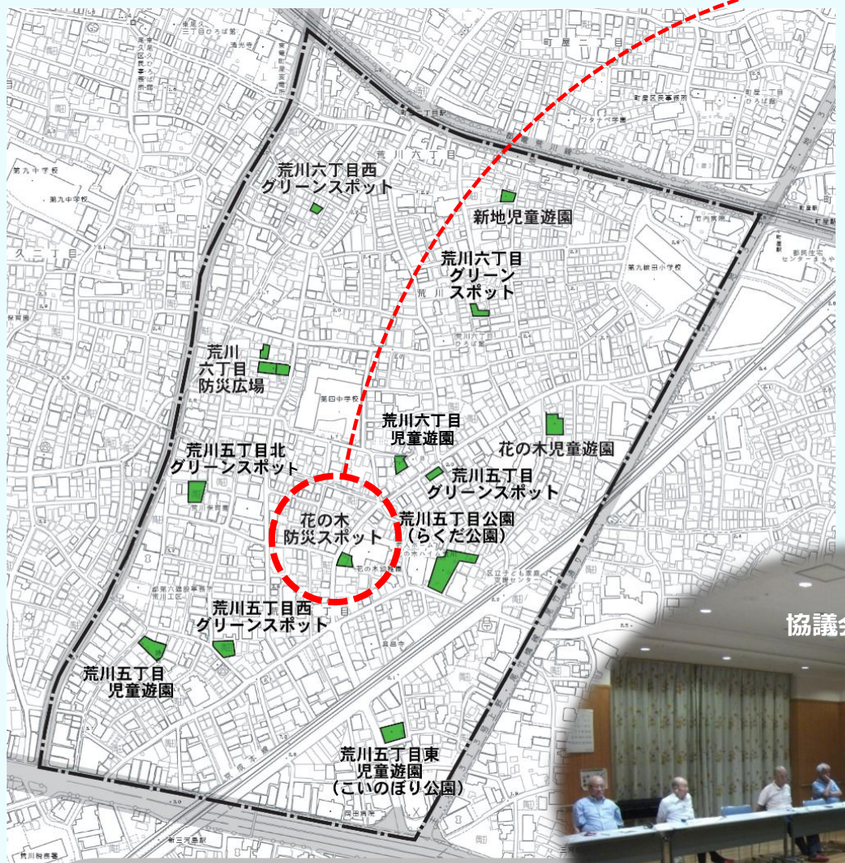
9 月末～10 月初め
第 2 回協議会
防災設備の体験

平成 31 年 1 月末～2 月中旬
第 3 回協議会
①体験に基づく感想・提案
②今年度の取り組みのまとめ
③来年度の取り組み検討

3 月中旬～下旬
まちづくり新聞第 69 号発行、配布

第１回協議会では、公園・広場についての理解を深めました

「荒川五・六丁目地区」には、防災広場、グリーンスポット、公園・児童遊園など合計 13 の「公園・広場」があり、日頃の「憩いの場」としてだけでなく、災害時にも「役立つ場」となっています。



協議会で出た意見

- 延焼遮断と活動拠点という設置目的の他にも、さらなる役割を見いだせるのではないか。
- 災害が発生した時に正しい情報が早く伝達されれば、どのように避難すればいいか判断できる。
- 広場のかまどベンチやマンホールトイレは初めての人には使えない。体験してみないとわからない。体験して地域が主体になってやらないとできない。
- 公園・広場を設置した後の管理が大切である。

話し合いの結果、広場の防災設備を実際に体験してみることにしました。

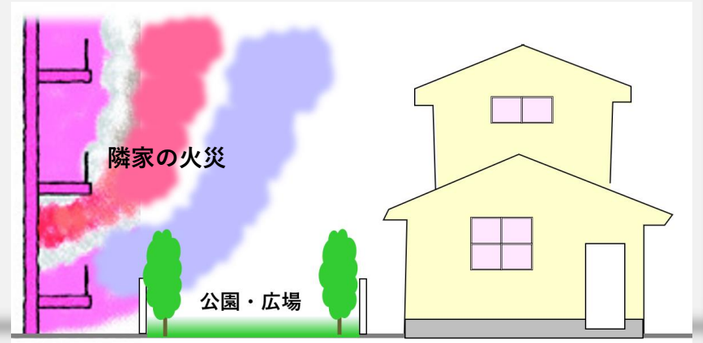
４月にオープンした花の木防災スポットをとりあげて話し合いました

防災スポット設置の目的である、「延焼遮断・遅延」と「地域での初期消火・救助活動の促進」について把握しました。

設置の目的

①延焼遮断・遅延

■公園・広場があることで、建物の距離が離れて延焼を遅らせたり、火災が焼け止まったりする効果があります。



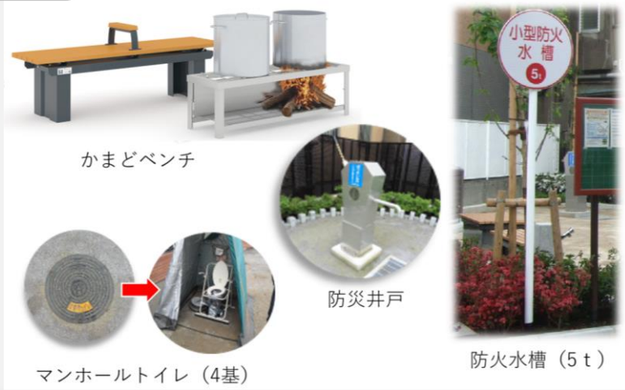
ｐ４「延焼防止に関するこんな記事」も参照下さい。

②地域での初期消火・救助活動の促進

■災害時には、地域の人々による初期消火活動や、救助の拠点として活用できます。

■花の木防災スポットには「防火水槽（５ｔ）」「防災井戸」「かまどベンチ」「マンホールトイレ（4基）」などの防災設備が設けてあります。

花の木防災スポットの防災設備



今後の流れ

●今年４月にオープンした花の木防災スポットで災害時における公園・広場の理解を深めるために、防災機材を使って、「体験会」を実施。その後、体験に基づく感想・提案などの意見交換を予定しています。

第２回協議会

防災設備の体験

第３回協議会

①体験に基づく感想・提案
②今年度の取り組みのまとめ
③来年度の取り組み検討